ふしぎがいっぱい（３年）　「草花のからだ」利用案

筑波大学附属小学校　白岩　等

【単元のねらい】

植物の体は根・茎・葉からできていて根は地中にあること、茎は葉や花をつけるなどの体のつくりの特徴をとらえさせる。

【番組の利用にあたって】

本番組は、植物の体のつくりを学習する際の学習の見通したり、あるいは観察の視点を明確にしたりするために利用すると効果的である。また、共通点だけでなく、差異点にも多く触れているので植物の多様性についての見方・考え方を広げていくことにも利用できる。

○：学習活動　◇：支援　◆：番組　■：クリップ　▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第一次　ぐんぐんのびろ	1	○大きくなったヒマワリやホウセンカの様子について話し合う。 ・草丈がずいぶん大きくなってきた。 ・葉の数もずいぶん増えてきたよ。	◇これまでの観察記録をもとに話し合わせる。 ◇芽が出たころと比較しながら話し合わせる。
		植物はどのくらい育ったのだろうか。	
		観察１ ○ホウセンカの成長の様子を観察する。 ・草丈がずいぶん大きくなった。 ・葉の数も増えた。 ・葉も大きくなってきた。 ・茎もずいぶん太くなった。 観察２ ○ヒマワリの成長の様子を観察する。 ・ぼくの身長くらい大きくなった。 ・葉は私の手くらい大きい。 ・茎は葉を支えているようだね。	▲ワークシート（観察記録） ◇草丈のはかり方はひもなどを使う等工夫させる。 ◇観察するホウセンカはいつも同じ個体を使う。 ▲ワークシート（観察記録） ◇対象物を明確にして比較させる。
		植物の草丈が伸び葉も大きくなり、ぐんぐん育っている。しかし、植物の種類によって葉の数、大きさ、草丈、茎の様子に違いがある。	

<table>
<tr><td rowspan="2">第二次
植物の体</td><td>2</td><td>◆『草花のからだ』を視聴する。</td><td>◇視聴により学習の見通しと観察の視点を明確にする。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">植物の体はどんな部分からできているのだろうか。

観察３
〇ホウセンカとヒマワリの体のつくりを観察する。
・どちらにも茎と葉がある
・土の中には根もあるよ。
・ホウセンカの葉は細長い。
・太い根のところから細い根が何本も出ている。

▲ワークシート（観察記録）
◇共通点・差異点を明確にしながら観察させる。

◇根が土の中に張り巡らされている様子に気づかせてから土を洗い流し続けて観察する。

植物の体は、根・茎・葉からできている。</td></tr>
<tr><td></td><td>3</td><td colspan="2">いろいろな植物のからだのつくりをしらべてみよう。

観察４
〇ハルジオン、エノコログサなど身近な野草や野菜のからだのつくりを調べる
・やっぱり、同じように根・茎・葉がある。
・でも、見た目はずいぶん違うな。

■タマネギの根・茎・葉
■いろいろな野菜の根
■サツマイモの根
◇ホウセンカ、ヒマワリの学習を想起させながら観察させる。</td></tr>
</table>